

令和8年度

「運営に関する計画」

大阪市立開平学校

令和8年4月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 全国学力・学習状況調査結果については、平成19年度実施より毎年両教科ともに継続してほぼ全国平均を上回る状況である。無回答率については、全国平均以下で推移してきた。
- 毎年実施されている大阪市小学校学力経年調査結果については、概ね全学年全教科で大阪市平均を上回っている。学習意欲が高く何事も前向きに取り組む児童が多いが、一方習熟に課題のある児童については、基礎基本の徹底を重点に取り組む必要がある。
- 全国体力・運動能力運動習慣調査については、令和6年度は女子は全国平均を上回る項目が多かったが、男子はほとんどの項目で下回り、大阪一狭い運動場という環境に対応した体力づくりの取り組みが必要である。
- 開校以来100人前後の児童数で推移していた本校であるが、本年度は400人を超える規模となり、さらに増加傾向が続くものとする。子ども一人一人の抱える背景も様々であり仲間づくりにおいては様々問題が生じている。これまで以上に内面にしっかり迫る教育活動が求められている。子どもに寄り添い、一人一人が抱える問題や課題を見逃さず隙間のない教育を進めていく必要がある。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。
- ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友達と共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。

- ・教員の時間外勤務時間において、大阪市の校種別の平均時間を全ての月で下回る。
- ・小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を81%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を89%以上にする。[昨年度88.9%]
- ・小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を68%以上にする。[昨年度67.5%]
- ・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。[昨年度86.8%]

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。
- ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。[昨年度87.8%]
- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。[昨年度76.4%]

【学びを支える教育環境の充実】

- ・小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友達と共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を74%以上にする。[昨年度73.3%]
- ・教員の時間外勤務時間において、大阪市の校種別の平均時間を下回る月を年間の80%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。[昨年度79.6%]

3 本年度の自己評価結果の総括

--

大阪市立開平小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を89%以上にする。[昨年度 88.9%] ・小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を68%以上にする。[昨年度 67.5%] ・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。[昨年度 86.8%] 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校のきまり」について、職員全体で共通理解を図り、児童の規範意識を高めるようにする。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活指導連絡会を月に1回、部会を適宜実施する。また、必要に応じて朝会時に連絡し児童理解に努める。 ・学級、学年目標を意識させる取り組みを年に1回以上進める。 	
<p>取組内容②【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が困りごとや不安を一人で抱え込まず安心して相談できるよう、道徳や学級活動等を通して相談の大切さを指導するとともに、担任や養護教諭、スクールカウンセラーなど複数の相談先を周知し、相談しやすい雰囲気づくりを進める。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケート「お子様の学校生活のこと等についての相談をしようとする時、学校は相談しやすい雰囲気だと思われますか」に対して、最も肯定的な回答をする保護者の割合を60%以上にする。 	
<p>取組内容③【基本的な方向2、豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「共に学び、共に育ち、共に生きる」インクルーシブ教育の推進のために、環境整備を進めるとともに、児童の相互理解につながる活動や取り組みを実践する。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の相互理解や共に学びあえる環境を整えるために、巡回相談や特別支援教育の研修を年間4回実施する。 ・各学年の発達段階に合わせて、特別支援教育の視点に立った障がいの理解につながる授業を実施する。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。 ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を 88%以上にする。[昨年度 87.8%] ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 77%以上にする。[昨年度 76.4%] 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船場に学ぶ児童が主体的に探究し表現できるように、国語科において横断的カリキュラムのもと、児童が協働的に学ぶ場を設定した授業を設定する。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪市学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を 83%以上にする。 	
<p>取組内容②【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開校以来全学年で行っている週 1 回以上の英語活動と、大阪市が推進する英語短時間学習を計画的に実施し、英語で積極的にコミュニケーションを取ろうとする態度を育成する。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週 2 回のドリムと年間時数に沿った英語、外国語活動を計画的に実施し、児童アンケートにおける「楽しく英語を学習し、進んで英語を話すことができた」に対して、最も肯定的に答える児童の割合を 68%以上にする。 	
<p>取組内容③【基本的な方向 5 健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動好きの児童を育てるために、休み時間の運動遊びの充実を図る。また、第 2 運動場の計画的な運用や体力向上を目指した体育学習及び体育的行事の工夫を行う。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケートにおける「運動する（体を動かす）ことが好き」に対して、肯定的に答える児童の割合 88%以上を維持する。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友達と共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を74%以上にする。[昨年度73.3%] ・教員の時間外勤務時間において、大阪市の校種別の平均時間を下回る月を年間の80%以上にする。 ・小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。[昨年度79.6%] 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーションの推進）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市が進める学校教育ICT活用事業に沿った実践を計画的に進める。 ・各学年の実態に応じたプログラミング学習の実践を進める。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の学習の中、調べ学習も含め、各教科で各学年の実態に応じたアプリやツールを週1回以上活用する。 	
<p>取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆとりの日や学校閉庁日を設定し、時間外勤務時間の削減に取り組む。 ・安全衛生委員会での産業医からのアドバイスをもとに、適切な働き方について教職員全体で意識できるようにする。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆとりの日において、セット時刻「17:30」を達成できる日を全体の90%以上にする。 	
<p>取組内容③【基本的な方向8 生涯学習の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開援隊の図書班や学校図書館司書と連携し、読書好きな子どもたちを育てるための実践を計画的に進める。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケートにおける「進んで読書ができた」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。 ・学校図書館教育全体計画および、学校図書館運営計画に沿って、委員会活動を主とした読書推進活動を学期に1回以上取り組む。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	